

### 3. 占領下の日本と国民の生活

戦後の日本の国民生活は、物資の不足と激しい  
(インフレーション) に苦しめられました。



物価が持続的に  
上がること。

太平洋戦争の末期に、アメリカ軍が行った(空襲)によって  
多くの工場が破壊され、1946年の金属工業の生産は  
もともと落ちこみます。

モノ不足、食料不足で人々は、農村に(買い出し)に  
行ったり、非合法の(闇市)で生活必需品を手に  
入れました。

そして戦後は、多くの日本人が日本にもどり、  
その後、金属工業の生産が再開され、しだいに経済  
が復興し、1949年には、もともと落ちこんだ1946年の  
2倍にまで回復しました。